

令和4年度 珠洲市立蛸島小学校 後期 学力向上プラン
 プラン名 条件や目的に合わせて書く力を身につけよう（70%）

1 授業づくり

(1) 現状・課題 (R)

12か条+(プラス)
5条・4条

課題	現状（科学的データ）
条件や目的に合わせて表現する力が弱い。	・県評価問題（令和4年2学期実施） 5年 県 1三 意見か質問を書くところを、感想を書いている。(66%) 5年 県 2三 文脈に合った内容を書かずに、自分の考えを書いている。(66%) ・R4中期プラン「考えや理由を書き表すときの表現力を身につけよう」 ノートチェック 85%, 授業検証シート 75%, 児童アンケート 89%, 検証テスト 76% [要因] ○「から」を手がかりに理由を見つれたり、理由を書いたりできるようになってきた。 △意見・質問・感想や考えの区別ができていない。 △書いたものが文脈に合っているかの判断が不十分。 →教師：書く条件や目的に応じた内容や文末表現の指導が不足。 児童：目的に合った表現が不十分。

(2) 計画と実行 (P・D)

後期目標	具体的取組												
根拠や理由を明確にして、条件や目的に応じた文章を書くことができる。	○根拠や理由を問う発問や指示語が示す内容を問う発問を複数用意しておく。(教師) ・どこに書いてあった? ・どこからそう考えた? ・どのような表現法がいい? ○児童同士で問い返しを行う場面を設定する。(教師) ○条件や目的に応じた言葉や文末表現を取り上げたり掲示したりする。(教師) ○書く目的や条件が示されている部分を確かめ、視点に沿って線を引いたり印をつけたりする。(児童)												
検証項目													
・授業参観シート 教師「書く条件や目的を確かめるための問い返しを行う。」 児童「条件や目的に合わせて書くことができる。」(70%) ・ノートチェック「条件や目的に応じた文で書くことができる。」(70%・24/34人) ・児童アンケート「理由を明確にして、相手に伝わる文が書けた。」(70%・24/34人) ・児童アンケート「友達たちの考えに質問や意見を言うことができた。」(70%・24/34人) ・検証テスト 文章問題で、理由や意見などの条件や目的に応じて書き表している児童の割合(70%・24/34人)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;">評価（結果）</th> <th style="width: 20%;">目標の達成</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td style="text-align: center;">%</td><td></td></tr> <tr><td style="text-align: center;">%</td><td></td></tr> <tr><td style="text-align: center;">%</td><td></td></tr> <tr><td style="text-align: center;">%</td><td></td></tr> <tr><td style="text-align: center;">%</td><td></td></tr> </tbody> </table>	評価（結果）	目標の達成	%		%		%		%		%	
評価（結果）	目標の達成												
%													
%													
%													
%													
%													

(3) 検証と改善策 (C・A)

月	評価項目（誰が、いつ）	結果	改善策
1	<input type="checkbox"/> 授業参観シート（参観者，4週） <input type="checkbox"/> ノートチェック（学担，4週） <input type="checkbox"/> 児童アンケート（学担，4週） <input type="checkbox"/> 検証テスト（学担，4週）	% % % %	
2	<input type="checkbox"/> ノートチェック（学担，4週） <input type="checkbox"/> 児童アンケート（学担，4週） <input type="checkbox"/> 検証テスト（学担，4週）	% % %	
3	<input type="checkbox"/> ノートチェック（学担，3週） <input type="checkbox"/> 児童アンケート（学担，3週） <input type="checkbox"/> 検証テスト（学担，3週）	% % %	

2 基盤づくり

後期目標	具体的取組	評価
・相手の話を聞いて、返事・反応する態度を育成する。	・授業や行事・集会などで進んで返事や反応をする。 (児童アンケートで振り返る。90%以上 30/34人)	